

賃貸名人の通信をウイルス自動検知の対象から除外させる（ソースネクスト ウィルスセキュリティ）

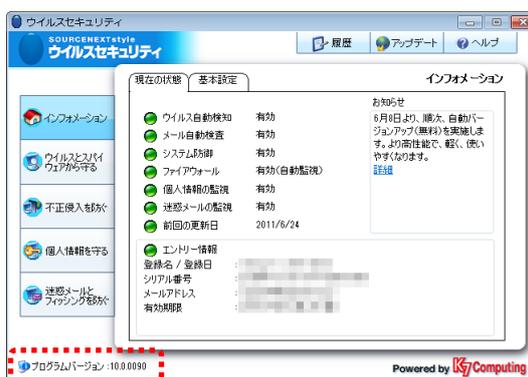
※以下の手順は、ソースネクスト ウィルスセキュリティ（バージョン 11 以降）のウイルス自動検知機能が「有効」に設定されているサーバ(親機)を対象としています。クライアント(子機)における設定は不要です。

※以下の手順は、Microsoft SQL Server 2005（2007年4月リリース以降の賃貸名人に同梱）をご利用の場合の設定です。

[バージョンについて等]

以下の手順はウイルスセキュリティ バージョン 11 を対象としています。バージョン 10 以前をご利用の場合は、バージョン 11 にオンラインアップデートをしてください。

<バージョン 10>



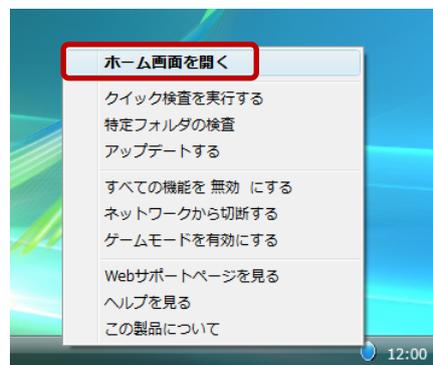
プログラムバージョン: 10.0.0090

<バージョン 11>



バージョン番号: 11.0.0026

1. タスクトレイのアイコンを右クリックし、[ホーム画面を開く] をクリックします。



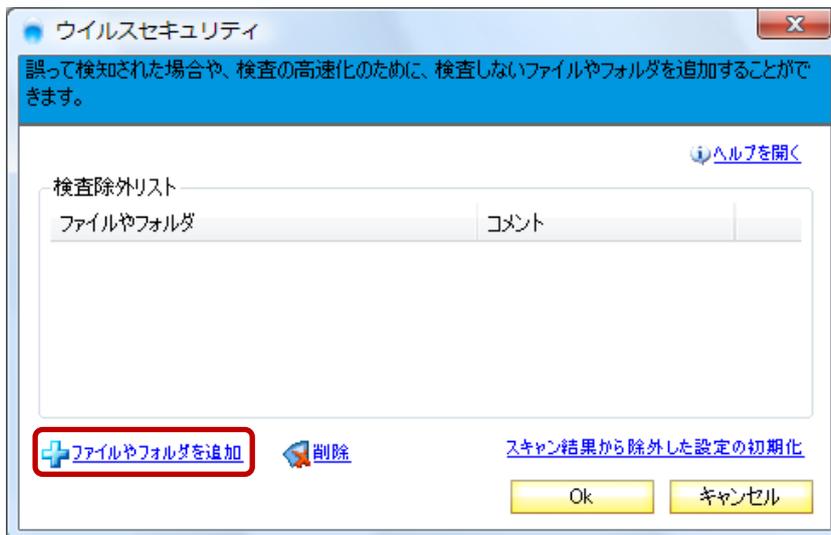
2. メインウィンドウで、[ウイルス・スパイウェア対策] を選択し、[設定する] をクリックします。



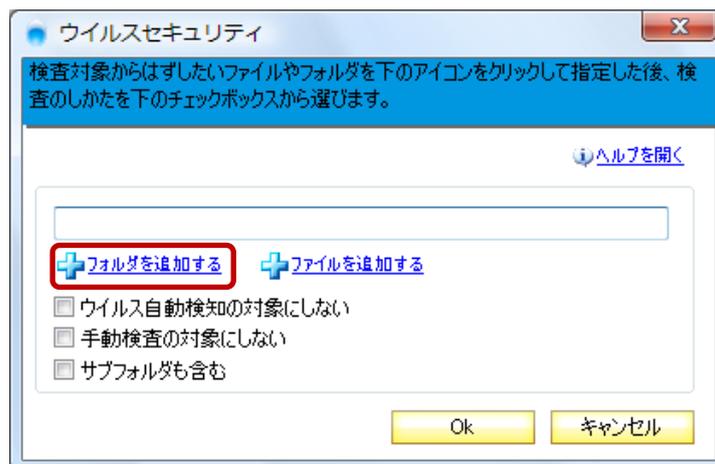
3. [ウイルス対策機能の設定] ウィンドウで、[ウイルス自動検知] タブを選択し、[検査したくないファイル、フォルダを指定する] をクリックします。



4. [ファイルやフォルダを追加] をクリックします。

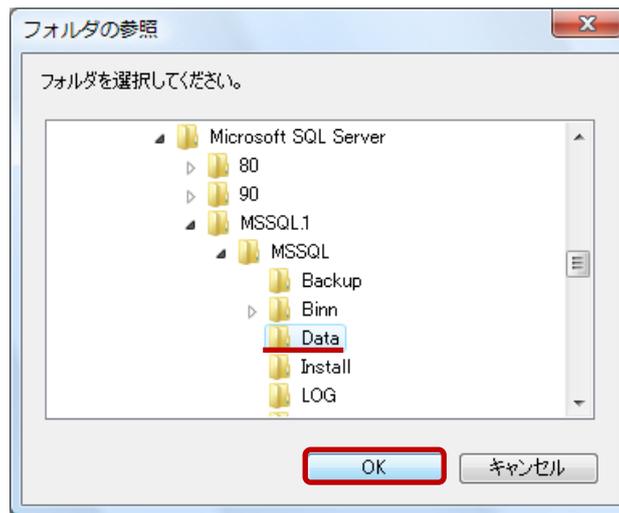


5. [フォルダを追加する] をクリックします。

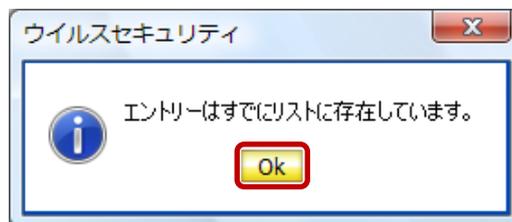


6. [フォルダの参照] ダイアログで、[マイ コンピュータ] → [ローカル ディスク(C:)] → [Program Files] → [Microsoft SQL Server] → [MSSQL.1] → [MSSQL] → [Data] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

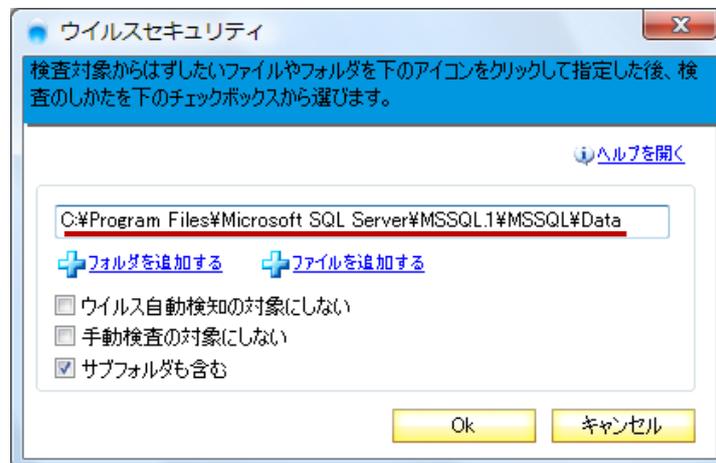
※64 ビット OS の場合は、[マイ コンピュータ] → [ローカル ディスク(C:)] → [Program Files (x86)] → [Microsoft SQL Server] → [MSSQL.1] → [MSSQL] → [Data] となります。



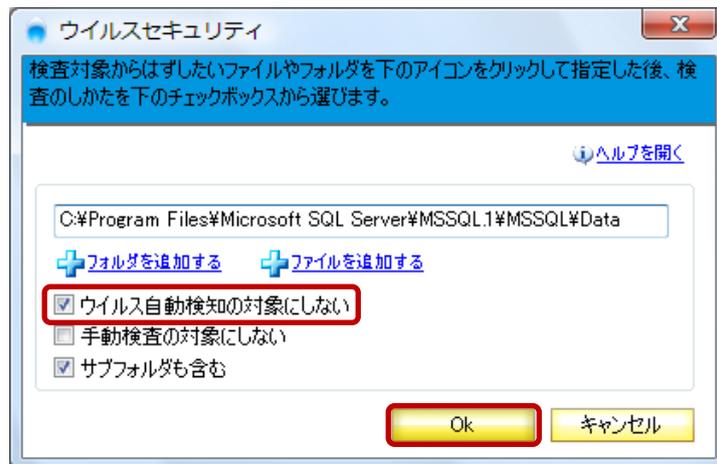
※以下のメッセージが表示された場合は、選択したフォルダの追加は不要です。[OK] ボタンをクリックします。



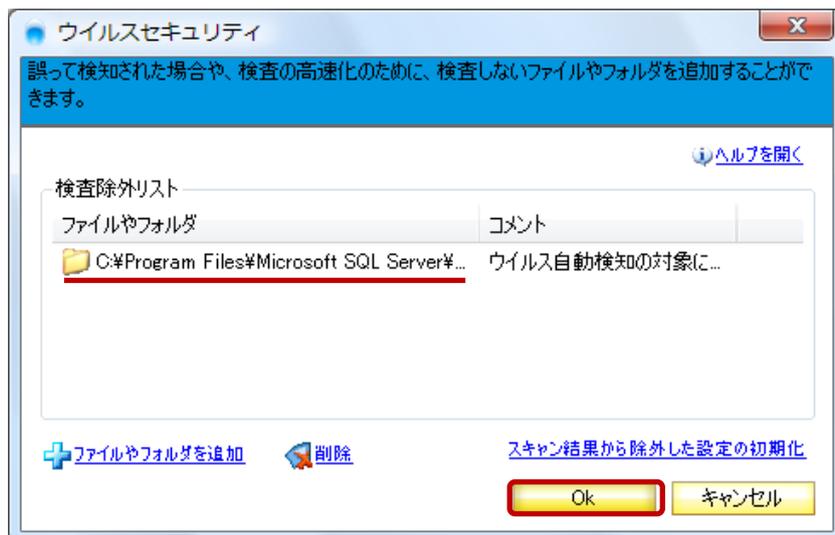
7. 選択したフォルダが追加されたことを確認します。



8. 「ウイルス自動検知の対象にしない」にチェックし、[OK] ボタンをクリックします。



9. 選択したフォルダが追加されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



以上で設定は完了です。クライアントからの接続をご確認ください。